

人口減少克服に向けた取り組みについて

1 取組の方向性

(1) しごとの創生

| | |
|-------------|---|
| 起業創業支援・人材育成 | 資金面での援助や、相談体制の整備、起業意欲を持った人材の育成等を通じて、特に若者の起業創業を促進する。 |
| 雇用創出 | 地域の特性を生かした企業誘致や、雇用創出効果の高いコールセンターなどの立地を促進する。 |
| 地域産業の競争力強化 | 地域産品の商品力強化、ブランド化促進、販路拡大等を通じて地域産業の競争力強化を支援する。 |

(2) ひとの創生（少子化対策）

| | |
|--------------------|--|
| 子育てにかかる負担軽減 | 医療費や保育料等の経済的な負担軽減、子育ての不安感や家事負担等を軽減するサポート体制を充実する。 |
| 地域ぐるみの子育てサポート・啓発活動 | 地域住民等が協力して子育てを支援する体制づくりや、結婚・子育て等に関する啓発活動を実施する。 |
| 次世代を支える人づくり | 未来の子育て世代である、子どもたちや若者の積極性や創造性を向上する様々な取組を行う。 |

(3) ひとの創生（社会減対策）

| | |
|------------|---|
| 都市の魅力発信 | 様々な本市の魅力を体験できる仕組みづくりや、情報発信を通じて、本市が「選ばれる街」となることを目指す。 |
| 移住・定住促進 | 住まいや仕事など移住・定住に必要な様々な要素に関する支援の充実や、適切な情報発信を行う。 |
| 中心市街地の魅力向上 | 本市を象徴するエリアである中心市街地において、「人が集まる仕掛けづくり」を行い、都市の活性化を図る。 |

(4) まちの創生

| | |
|----------------|---|
| 持続可能な社会システムの構築 | 人口減少、高齢化という社会環境の変化に柔軟に対応した持続可能な社会システムの構築を図る。 |
| 既存ストックの活用 | 様々なインフラなどの既存ストックの効率的な維持、有効活用を図る。 |
| 地域間の連携促進 | 周辺市町村や文化的な繋がりのある遠隔地との連携・交流を促進し、相互の長所を生かした課題解決を図る。 |

2 人口減少克服に向けた現在の主な取り組み

(1) しごとの創生

① 起業創業支援・人材育成

| | |
|-------------------------|--|
| <p>創業促進事業 【拡充】</p> | <p>①創業促進事業補助金 創業予定者、若年U I J ターン者・高度技術習得者・創業後間もない事業者を対象に創業に要する経費の一部、または、事業の発展に要する経費の一部を補助することにより、新たな需用や雇用の創出を促す。</p> <p>②相談窓口の設置、出張講座、セミナー等の実施等 創業相談窓口の設置 創業支援事業者と連携し、創業支援相談会、出張講座、セミナー等を実施 創業応援ルームの開設等</p> |
| <p>起業家育成資金貸付金</p> | <p>起業や創業を支援し、トクシマズドリームの推進を図るため、本市において、新たに開業しようとする者に対して、開業に必要な資金確保の円滑化を図り、徳島発の起業や新たな生産活動の創造を促進する。</p> |
| <p>中小企業等人材育成事業 【拡充】</p> | <p>①中小企業社員人材育成事業 市内中小企業に勤務する社員を対象に、個別企業で実施できない新人社員向け研修から、管理職向け研修や専門研修までを体系的に実施する。</p> <p>②ものづくり産業人材力向上支援補助 ものづくり産業に必要なスキルを持った、多様な人材を確保し、企業等の経営基盤の向上を図るため、ものづくり中小企業の経営者や社員が計画的に参加する研修等費用の一部を補助する。</p> <p>③ものづくり高度技術習得支援補助 ものづくり製造現場等において中核となって働く技術水準の高い専門的な人材を育成するため、大学、研修機関、先進企業等に1ヵ月以上社員を派遣する中小企業に対して、費用の一部を補助する。</p> <p>④ものづくり熟練技能継承支援補助 失われつつある技術水準の高い専門的な熟練者のものづくり技術の継承や、後継者の育成を図ることを目的として、中小企業等</p> |

| | |
|--|---|
| | <p>が行う研修に対して、費用の一部を補助する。</p> <p>⑤ものづくり技術向上支援補助</p> <p>次代を担う若年者が、ものづくりの各種技能大会に参加することで、技能に身近に触れる機会を経験し、ものづくりに関してさらなる高い関心を持ち、ものづくり技能の向上に取り組んでもらうことを目的に、ものづくりに関する各種技能大会に参加する個人又は団体等に対して、奨励金を補助する。</p> |
|--|---|

② 雇用創出

| | |
|-----------------|--|
| 企業誘致推進事業 | <p>県市協調して、経済波及効果の高い企業の立地誘導による経済の活性化と就業機会の確保のため、固定資産税等の課税免除、雇用奨励金の交付を行い、本市での事業拡大へとつなげていく。</p> |
| コールセンター等立地促進事業費 | <p>雇用創出効果の高いコールセンター等の情報通信関連事業所の立地を促進するため、固定資産税等の課税免除、雇用奨励金の交付を行い、地域産業の情報化の推進と雇用の場の提供を図る。</p> |
| 女性の再就職支援事業 【新規】 | <p>出産、育児等のために離職した女性の再就職を支援することで、女性を取り巻く雇用環境の改善を図るとともに、企業における労働力の確保を支援する。</p> |

③ 地域産業の競争力強化

| | |
|--|---|
| <p>中小企業販路拡大支援事業 【拡充】</p> | <p>①中小企業販路拡大支援事業補助 中小企業の販路拡大に関する能力向上を図るため、首都圏などの大規模な市場における自社の製品の販路拡大を目指し、展示会出展及び営業活動、製品開発・改良を行う事業に対して、費用の一部を補助する。</p> <p>②首都圏におけるテストマーケティング事業 販路拡大を目指す中小企業に対し、首都圏市場のニーズや商品に対する消費者の評価を把握し、その後の商品改良や販路拡大に繋げていくことを目的として、首都圏の店舗においてテストマーケティングを行う。</p> |
| <p>地産地消推進事業</p> | <p>徳島市内で採れた農林水産物の良さや魅力を市民の方々にPRし、再認識してもらうことで地場産食材の利用拡大を図り、本市農林水産物のブランド育成及び地産地消を推進するため、「とくしま食材フェア」を開催する。</p> <p>また、地元産の食材を使ったメニューを提供する飲食店として認定している「とくしまI P P I N店」については、今後さらに募集・拡充し、広報媒体によるPR活動を積極的に行う。</p> <p>これらを行うことにより、良質な徳島産の認知度向上をめざし、農家所得の向上と地域農業の維持発展を図る。</p> |
| <p>とくしま食材ブランド化推進事業 【先行】</p> | <p>徳島産農林水産物の価値・魅力を情報発信し、知名度や信頼性を高めるため、首都圏において農林水産物の試食販売等によるPR活動を行い、産地のイメージアップとブランド化を推進するとともに、販路拡大を目指す。</p> |

(2) ひとの創生（少子化対策）

① 子育てにかかる負担軽減

| | |
|-----------------------------|---|
| 第3子以降保育所、認定こども園・幼稚園保育料の無料化等 | 子育て家庭の経済的負担を軽減し、子どもを安心して生み育てやすい環境を整備するため、18歳未満の子どもが3人以上いる世帯で保育所、認定こども園に入所、又は幼稚園に在籍する第3子以降の児童・園児を持つ保護者に対して、保育料負担軽減を実施する。 |
| 乳幼児等の医療費助成 | 乳幼児等における疾病の早期発見と治療を促進するとともに、安心して子どもを産み育てることのできる環境づくりを推進するため、小学6年生修了までの乳幼児等にかかる医療費の一部を支援する。 |
| 産前・産後家事育成支援事業 | 家事・育児の不安感や負担感を軽減し、子どもを生み育てやすい環境を整えるため、産前2か月、産後1年の間に、家事や育児の援助をするヘルパーを派遣する経費を負担する。（自己負担金：1回2時間500円） |
| 障害児保育推進強化事業【先行】 | 障害児の受入を行う私立認可保育所等に対して補助を行い、障害児童の受入拡大及び対応する職員の雇用を促進することにより、安定した保育環境を整備する。 |
| 病児・病後児保育事業 | 子育てを側面から支援するため、保育ニーズの多様化等を踏まえ、病児・病後児保育に取り組む。 連携11市町村において医療機関等9か所で実施。 |

② 地域ぐるみの子育てサポート・啓発活動

| | |
|---------------------|--|
| <p>児童館学生サポーター事業</p> | <p>児童館等における、児童健全育成を目的とする各種事業への協力を希望する学生を徳島市児童館等学生サポーターとして登録し、各種事業に派遣することにより、児童館等の事業の活性化並びに次代の子育て力の向上を図る。</p> |
| <p>子育て応援団出前事業</p> | <p>子育てを応援・支援したい保育士・保健師等の資格を持つ人や子育て経験者等を徳島市子育て応援支援団として登録し、児童館や子育てサークル等の依頼に応じて遊び、しつけ、健康管理等主旨とする各種子育て支援イベントに無料で派遣する。</p> |
| <p>地域子育て支援拠点事業</p> | <p>地域全体で子育てを支援するため、保育所等を活用して、子育て家庭等に対する育児不安等についての相談・指導等を実施する。</p> |
| <p>パパママクラス</p> | <p>妊婦及びその配偶者や家族を対象に、妊娠中の生活や分娩が安心して迎えられ、また出産後に楽しんで育児ができるよう、毎月1回パパママクラスを実施している。内容は妊娠期の健康づくりや赤ちゃんの育児についての講話に加え、パパの妊婦体験や、赤ちゃんの沐浴実習などを行っている。</p> <p>パパが参加しやすいように、偶数月は日曜日に開催しているが、参加者のほとんどがパパとママで参加している。</p> |
| <p>農業後継者パートナー事業</p> | <p>J A徳島市との共催により婚活パーティーを実施し、農業後継者の結婚問題解消のため、側面からの支援を行っている。</p> |

③ 次世代を支える人づくり

| | |
|---------------------------------|---|
| <p>市民文化振興事業</p> | <p>「徳島市芸術文化創造アドバイザー」の作曲家 三枝成彰氏から、本市における芸術文化事業へのアドバイスをいただきながら、学校への音楽教室や、地域で活動する文化団体との文化交流事業の実施により、未来を担う子どもたちへの芸術文化の継承と振興に努めるとともに、市民と一体となって本市らしい芸術文化の創造に取り組む。</p> <p>(平成26年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三枝先生の音楽教室 ・市民ミュージカル「スマイル・スマイル・スマイル」にスーパーバイザーとして協力 |
| <p>「未来を拓く」学力サポート事業 【先行】</p> | <p>モデル校に学力サポートティーチャーを配置し、学力向上に向けた実践研究を通して教員の指導力向上を図り、その成果を普及することにより本市全体の学力向上の推進を図る。</p> <p>また、学力向上推進担当による学校訪問を中心とした学校・教員の指導・支援、また、研修会を充実させることにより、教員の資質・指導力向上を図る。</p> |
| <p>トップアスリート「夢の教室」実施事業</p> | <p>小学生を対象に、トップアスリートを講師として、「夢の教室」を開催することで、こどもたちに夢を持ち、夢の実現に向けて努力することや仲間の大切さを実感してもらい、失敗や挫折に負けない人間を形成していく。</p> |

(3) ひとの創生（社会減対策）

① 都市の魅力発信

| | |
|------------------------------|---|
| <p>「心おどる水都・とくしま」発信事業【先行】</p> | <p>「心おどる水都・とくしま」発信プランに基づき本市の魅力を全国に発信し、都市イメージを向上することで、様々な局面で本市が選ばれる状況を創出し、地域経済の活性化、定住人口の拡大につなげる。</p> <p><具体的取り組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・オールとくしま体制の整備（推進協議会の開催と、個別事業主体間の調整） ・ここにしかない魅力づくり（各団体等が実施する魅力発信事業のとりまとめ） ・全国に向けた情報発信（イメージアップキャラクター「トクシイ」の活動、シティプロモーションWEBサイトの運営） |
| <p>徳島ひょうたん島水都祭開催補助【先行】</p> | <p>シティプロモーション事業の一環として、「水都」とくしまの魅力を体感するイベントに対する補助を行い、地域住民がより一層親しむとともに、水の魅力を通して、本市のイメージアップ、交流人口の拡大につなげる。</p> |
| <p>観光キャンペーン実施事業【先行】</p> | <p>阿波おどりを中心とした春、秋にキャラバン隊を結成し阿波おどりによる誘客キャンペーンを実施し、積極的に観光客の誘客を図る。</p> <p>仙台市七夕まつりにおいて阿波おどり連を派遣し徳島市のPRを行う。</p> |
| <p>コンベンション誘致支援事業【先行】</p> | <p>全国規模等によるコンベンションの開催誘致を図るため、県と共同で誘致支援を行う。</p> |
| <p>阿波おどり魅力体験事業【先行】</p> | <p>にわか連や心おどる水都とくしま連に参加することで阿波おどりの魅力を体験していただき観光客の誘致を図る。</p> <p>阿波おどり団体を県外派遣し本場阿波おどりの魅力をPRする。</p> <p>小学生を対象に阿波おどり出前育成講座を実施し将来の担い手を育成する。</p> |

② 移住・定住促進

| | |
|---------------------------|--|
| <p>移住促進ポータルサイトの開設【先行】</p> | <p>徳島市の情報発信の基盤として、情報通信技術の進展などに対応した新しいホームページの構築にあたり、移住や定住の促進やしごとづくり・子育て支援等「心おどる水都・とくしま」に代表される徳島市の魅力・特色を市内外に発信できるホームページの構築を目指している。</p> |
| <p>UIJ ターン促進事業【先行】</p> | <p>①若年 UIJ ターン者就職等奨励金 市内中小企業に就職又は市内で起業し、本市に定住する意思がある若年 UI J ターン者に対して、奨励金を交付することにより、若年 UI J ターン者による本市中小企業への就職及び市内での起業を促進するとともに、定住をもって地域の活性化を図る。</p> <p>②UIJ ターン人材確保支援補助金 人材確保に取り組む本市中小企業者が、県外人材獲得のために行う活動に経費の一部を補助し、本市中小企業の雇用機会の創出による地域産業の振興と定住人口の増加を図る。</p> <p>③若年 UIJ ターン者住環境整備補助金 若年 UI J ターン者が、市内中小企業に常用雇用者として雇用、又は本市で起業するにあたり、本市に定住する目的で住宅を新築、購入又は賃借する住宅を改修する場合に必要な費用の一部を補助し、住環境の向上を支援することで定住を促進し、労働人口の増加をもって地域産業の振興を図る。</p> |
| <p>新規就農者支援事業</p> | <p>国の青年就農給付金制度を活用し、若手の新規就農者や独立自営青年農業者に対して給付金を給付して就農直後の経済的支援を行うとともに、その給付対象者同士のネットワーク構築や営農経営に関する講習会等を開催して農業定着へのスキルアップを図る。</p> <p>これにより、就農意欲の喚起と就農後の定着を図り、地元及び県外からの就農者育成による定住化及び地域環境の保全に努める。</p> |

③ 中心市街地の魅力向上

| | |
|----------------------------|--|
| <p>ひょうたん島川の駅ネットワーク推進事業</p> | <p>新町川や助任川等ひょうたん島を取り巻く一周約6kmの川に「川の駅」を整備し、それらをネットワーク化することにより、川を手軽な移動手段として、また、川の駅周辺を憩いの場・交流の場として、市民や来訪者が活用できるようにすることで、新たな人の流れを生み出し、賑わいの面的な広がりを目指す。</p> <p>両国橋たもとなど既存の栈橋に加え、新町橋河畔に拠点となる川の駅として栈橋と駅舎を再開発事業と一体的に整備することで、心おどる文化体験と人々が出会い交流できるおしゃれな都市空間として、水都とくしまを実感できるシンボルエリアの魅力向上を図る。また、助任橋のたもとは、阿波の歴史と自然を満喫する憩いの空間を目指し新たな栈橋の整備を進める。</p> <p>これらを整備し、既存施設や機能、自然環境などと連携・活用することにより、都市中心部の魅力向上や交流人口の増加、新たな地域資源の発見や活用につなげる。</p> |
| <p>LED が魅せるまち・とくしま推進事業</p> | <p>①徳島LEDアートフェスティバル2016の開催</p> <p>これまで整備してきた水と緑の魅力にLEDの要素を加えた、新たな魅力を持つ「水都・とくしま」の創造を目指して、来年度、徳島LEDアートフェスティバル2016を開催する。</p> <p>②徳島市シンボルゾーン等光環境整備基本計画作成</p> <p>本市中心市街地であるJR徳島駅前から阿波おどり会館までのシンボルゾーン及び眉山山頂において、「眉山魅力アップ計画」と連動した光環境の整備を実施することで、眉山及びシンボルゾーンの更なる魅力向上を図るとともに、中心市街地の活性化、「徳島＝LED」というブランドイメージの周知を、県内、全国に広める。</p> |
| <p>中心商店街活性化支援事業【拡充】</p> | <p>①徳島市中心商店街活性化支援補助金</p> <p>徳島商工会議所を通じて中心市街地内の地域商業団体へ交付。中心市街地内の地域商業団体が実施する空き店舗改装支援事業やイベント事業等の商業振興施策に対する予算の範囲内で補助することにより、中心市街地内における商業・サービス業の振興及び賑わい創出の推進を図る。</p> <p>②中心市街地活性化支援事業費補助金</p> <p>徳島商工会議所によるまちづくり支援員の配置に対し助成を行い、中心市街地のタウンマネジメント活動を支援する。</p> <p>③地域商店街活性化支援事業</p> |

| | |
|--|--|
| | <p>地域商業団体がイベント開催や街づくり研究活動等のソフト事業を実施する場合に、当該事業に係る経費の一部に対して助成を行うことにより、本市における地域商業団体の活性化並びに街づくりの推進を図る。</p> |
|--|--|

(4) まちの創生

① 持続可能な社会システムの構築

| | |
|--------------------|---|
| <p>地域公共交通活性化事業</p> | <p>①市営バスの路線再編</p> <p>持続可能なバスネットワークを構築するため、市営バスの運営を経営の厳しい交通局から市長部局に段階的に移行し、民間事業者への運行業務委託を進め、事業の効率化を図っている。運行委託を行う際には、地元住民や利用者の意見を反映し、運行ルートやダイヤの見直しを行い、利便性の向上に努めている。</p> <p>②公共交通不便地域への対応</p> <p>公共交通不便地域の現状や住民のニーズを把握するための調査を実施し、高齢者等の移動手段の確保を主眼とした、今後の公共交通の改善策の検討を行う。</p> |
| <p>在宅医療連携拠点事業</p> | <p>だれもが住み慣れた地域で安心して暮らせるためには、医療・介護にまたがる様々な支援が必要なことから、地域における包括的かつ継続的な在宅医療の提供体制（地域の医師、歯科医師、薬剤師、介護職員、ケアマネージャーなどの多職種連携）の構築について検討する事業。</p> <p>団塊の世代が後期高齢者に移行する 2025 年ごろには、入院・入所施設が不足し、医療や介護の提供が在宅に移行せざる得なくなる状況となることが予測される。</p> <p>本市における医療・介護の提供体制は、現状では高水準にあるが、来たるべき後期高齢者数の増大に向け、現段階から医療・介護等の多職種連携による在宅医療・在宅介護体制を整備し、本市における地域包括ケアシステムの構築を図る。</p> |
| <p>市民協働の推進</p> | <p>地域課題の解決と魅力あるまちづくりを行うためには、市民自らの発意と行動による公益的な取り組みが重要である。また、市民一人ひとりが自分のまちに関心を持ち、自らの選択と責任においてまちづくりに主体的に関わることで、市民ニーズに合った公共サービスを創出し、住んでよかったと思える徳島市の実現を目指す。</p> <p>①とくしま協働制度</p> <p>NPO・企業・学校・地域団体など多様な主体と行政との協働を推進するための仕組みとして、交流会や協働事業に対する一部補助を行う。</p> |

| | |
|--|--|
| | <p>②地域の絆づくり支援事業</p> <p>地域で公益活動を行う団体が、他の団体と連携、協働しながら、地域内の課題解決に取り組み、地域の人と人のつながりや絆をつくることにより、地域の活性化を図ることを目的とした事業に対する一部補助を行う。</p> |
|--|--|

② 既存ストックの活用

| | |
|-------------------|---|
| <p>橋りょう長寿命化事業</p> | <p>平成25年度末現在、市道に架かる橋梁数は約1350橋あり、その中には、耐用年数に迫り補修しなければならない橋梁も多数存在する。予算制約の中でいつ、どのような対策をどこに行うのが最適であるかを考慮し、橋梁の損傷が認定されてから補修するという従来の「対症療法型」から管理を高度化し、劣化予測に基づく「予防保全型」対策に切りかえ、「長寿命化修繕計画」に基づき整備し、橋梁のライフサイクルコストの低減を講じ、市民が安心して生活できるまちづくりを目指す。</p> |
|-------------------|---|

③ 地域間の連携推進

| | |
|--------------------|--|
| <p>定住自立圏構想推進事業</p> | <p>平成23年に締結した定住自立圏形成協定に基づき、徳島東部圏域の12市町村が連携・協力し、「選択と集中」「集約とネットワーク」の考え方に基づく、さまざまな分野における振興策を実施している。</p> |
| <p>都市間交流推進</p> | <p>地理的な繋がりのある神戸・洲本・徳島の連携や、姉妹都市など他地域との交流を促進し、都市間の繋がりを利用した本市の魅力発信等の取り組みを行っている</p> |